

古文

④ 古典の基本問題

今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。野山にまじりて竹をとりつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。

その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。

それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

竹取の翁、竹を取るに、この子を見付けて後に竹取るに、節を隔てて、よごとに、黄金ある竹を見付くこと重なりぬ。かくて翁、やうやう豊かになりゆく。

この児、養ふほどに、すくすくと大きになりまざる。三月ばかりになるほどに、よきほどなる人になりぬれば、髪上げなど相して、髪上げさせ、裳着す。

帳のうちよりも出ださず、いつき養ふ。この児のかたちけうらなること世になく、屋のうちは暗き所なく光り満ちたり。

『竹取物語』

(一) 基本問題①

① () に適当な語句を入れなさい。

『竹取物語』は (平安) 時代の前期に成立した(日本最古の物語)であり、作者は不明。

② 「今は昔」の意味を答えなさい。

(今となつては昔のことだが)

③ 「竹取の翁」の名前を答えなさい。

(さぬきの造)

④ 野山にまじりての意味として適切なものを次から選びなさい。() (ウ) (ウ) ()

(ア) 野山の中で過(こ)して

(イ) 野山を避けるようにして

(ウ) 野山に分け入って

(エ) 野山の中で迷ってしまつて

- ⑤ 「よろづ」のことに使うとは何に使うのか。答えなさい。
(いろいろなおことに使う)

- ⑥ 「あやしがりて」の意味と、誰が「あやしがりて」なのか答えなさい。
意味 (不思議に思っ)
誰が (竹取の翁)

- ⑦ 「三寸ばかりなる人」の「三寸」とはどのくらいの大きさか。次から選びなさい。(工)
(ア) 約 3 cm (イ) 約 4 cm (ウ) 約 6 cm (エ) 約 9 cm

- ⑧ 「うつくしうて」とはどのような感じか。最も適切なものを選びなさい。(ア)
(ア) とても可愛らしい様子で
(イ) すごく美しい姿で
(ウ) 非常におびえた様子で
(エ) この世のものと思えない姿で

- ⑨ 「みたり」の意味を答えなさい。
(座っていた)

(2) 基本問題②

- ① 「この子」とはどの子か。文中から抜き出しなさい。
(三寸ばかりなる人)

- ② 「黄金」はどこにあったのか。選びなさい。(イ)
(ア) 竹の根元 (イ) 竹の節と節の間 (ウ) 竹の先端

- ③ 「やうやう」の意味を答えなさい。
(次第に)

- ④ 児・裳着すを現代仮名遣いで記しなさい。
児 (ちご)
裳着す (もきす)

- ⑤ よきほどなる人の意味を答えなさい。
(人並みの背丈の人)

- ⑥ 「児」はどのくらいで成人の大人ようになったか。次から選びなさい。(エ) (工) ()
(ア) 十二〜十四年 (イ) 約五年 (ウ) 約一年 (エ) 約三ヶ月

- ⑦ 帳のうちよりも出ださず「帳」から出さないの「帳」とは現代訳にすれば何か。適当な言葉を書きなさい。

(部屋 寝室)

- ⑧ けうらなることの意味を答えなさい。
(清らかで美しい)



がっこうのおとも

中学生 問題集